

# 沁々した愛情と感謝と

宮本百合子

青空文庫



「禰宜様宮田」が、いつか単行本になる時があつたら、是非云い添えたいと思つていたことを書きます。

あれは、そんなに大して大きなものでもなかったのに、非常に沢山の欠点を持つています。其等の欠点に対しての自分は、ほんと真個に何処までも謙譲ではありますけれども、此頃になつて、あの作は私の一生の生活を通してかなり大切なものになつて来ました。そして、その大切なものとなつた原因は、自分にとってあの作を、彼程満足出来ないものとした全く同様な「其等の欠点」なのです。

コンポジション上の不完全さはともかくも、あの作にはそれ以前のどれにもなかったに違いない、またよしあつたにしろあんなに明かではなかった思想上の、多くの矛盾や、躊躇や、不徹底さのあるのは確かです。なんだかしんがムズムズしているようです。

全体に漲っているその動揺が、あれから半年経つた今の私にとって、ああ大事だつたと思わせるようになって来たのです。

あれを書いたことによつて、必然的な思想上の疑問が、かなり明瞭な形式をとつて思索の対象となり、或る意味から云えば進んだ次の一点へ自分を動かしてくれたのを、大層有

難しく思っているのです。

その詳しいことを、今ここで説明したくありませんから、この大切さ嬉しさも、極く主観的なものではありません。

けれども、或る旅行者が或る者をグングン行ったら二道の岐れ目に出てしまつて、随分種々と心を苦しめはしたが、漸々まあこれならいい道を選んだ自分を見出した時、彼がその辻に於ての苦痛や混乱や不決定さに就て感じるに違いない、或るしみじみとした愛情と感謝とを、今私は「禰宜様宮田」に感じているということだけを申して置きます。

〔一九一七年十二月〕

# 青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十七巻」新日本出版社

1981（昭和56）年3月20日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第4刷発行

底本の親本：「宮本百合子全集 第十五巻」河出書房

1953（昭和28）年1月発行

初出：「新潮」

1917（大正6）年12月号

入力：柴田卓治

校正：磐余彦

2003年9月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 沁々した愛情と感謝と

宮本百合子

2020年 7月17日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>